

和文タイトル

和文サブタイトル (あれば)

Title in English

英文サブタイトル (if any)

著者 1 姓 名 Author1 Roman Name	日本語所属名 1 Affiliation1 in English user1@ai-gakkai.or.jp, http://www.ai-gakkai.or.jp/~user1/
著者 2 姓 名 Author2 Roman Name	日本語所属名 2 Affiliation2 in English user2@ai-gakkai.or.jp, http://www.ai-gakkai.or.jp/~user2/
著者 3 姓 名 Author3 Roman Name	(同 上) user3@ai-gakkai.or.jp, http://www.ai-gakkai.or.jp/~user3/
カタガナガキノ ナガイナガイナマエ VeryLong Roman Name	(同 上) user4@ai-gakkai.or.jp, http://www.ai-gakkai.or.jp/~user4/
著者 5 姓 名 Author5 Roman Name	日本語所属名 1 Affiliation1 in English user5@ai-gakkai.or.jp, http://www.ai-gakkai.or.jp/~user5/

keywords: キーワードとして、小文字（固有名詞や略語の場合を除く）の英単語を 2~5 個指定

Summary

200~500 ワード以内の英文で **summary** を記す

1. はじめに

このファイルは JAWS 用スタイルファイル ($\LaTeX 2\epsilon$ 用) `jsai-jaws.cls` の使用例です。 $\LaTeX 2.09$ を使用する場合は、`template209-{j,e}.tex` を参照して下さい。

2. 使用上の注意

JAWS 用原稿を作成するには、ソースファイルの先頭で、
`\documentclass[jaws]{jsaiart-jaws}`
 として下さい。また、JAWS 用原稿では著者略歴 (biography) は入れないで下さい。

なお、JAWS 開催年は自動的にコンパイル時の年をそのまま利用しますが、特別な事情で陽に指定したい場合は、
`\jawsyear{2012}`
 などとして下さい。

3. 従来の手法の問題点

引用の例 [Lamport 86, Knuth 84]

4. 今回の改良点

5. 実 験

5.1 実 験 手 法

5.2 実 験 結 果

§ 1 実験 1

§ 2 実験 2

6. ま と め

謝 辞

謝辞について

◇ 参 考 文 献 ◇

- [Knuth 84] Knuth, D. E.: *The \TeX book*, Addison-Wesley (1984)
 [Lamport 86] Lamport, L.: *\LaTeX : A Document Preparation System*, Addison-Wesley (1986)

◇ 付 録 ◇

A. 付録のタイトル 1

付録の本文 1

B. 付録のタイトル 2

付録の本文 2